

令和6年度 学校経営方針

荒川区立第六瑞光小学校 校長 柿原 直昭

〇はじめに

子供にとってよい学校とは、どんな学校か？よい学校は常に小さな改善が試みられている学校である。結果の善し悪しや成果の有無のみを問わず、現状をよりよくしていこうとするチャレンジをしている学校は学校力・組織力がある。「未来を生き抜くたくましい子供」を育てるために、子供たちも、先生方も「失敗を恐れず何事にも一生懸命取り組む」推進力を身に付け、『夢授業』への実践に期待する。

そして、社会の変化や新たな時代の教育に向けた持続可能な組織体制を今一度構築していく。

〇学校経営の基本理念

大人も子供も「自律」と「共生」を目指す

自律：自ら気付く、考える、判断する、決定する、行動する、振り返る、感情をコントロールして冷静に議論する

共生：一人一人の違いを知る、理解する、認める、尊重する、生かす

〇学校の教育目標

教育目標『よく学び 仲良く 元気な 六瑞っ子』の達成をとおして、

『今日が楽しく 明日もうれしい 六瑞小』を掲げた学校像を目指す

よく学び

◇学びに向かう力 (学力向上)

◇豊かな人間性 (創造的思考力の向上)

仲良く

◇自他を認め合う人権感覚 (人権感覚の涵養)

◇誰もが大切にされる人間関係 (親和協同の連帯感)

元気な

◇何事にもチャレンジするたくましさ (体力向上、食への関心)

◇やればできるという自己肯定感 (たくましい人間力)

〇重点方針

①人権尊重教育推進校として、全教育活動をとおして確かな人権感覚を涵養していく

②話し合い活動を重視した授業デザイン力を磨く

③ICTスキルの向上を図り、個別最適な学びや学習支援体制を確立する

④「チーム六瑞」として協働的・組織的な取組や学年・学級経営を重視し、小さな改善や試みを繰り返し、学校力・組織力を創造する

⑤たけのこ教室、個に応じた支援を工夫して展開し、誰一人取り残さない学校づくりを目指す

○教育活動を行う上で教師としてのやりがいを得る基本的な考え方

- (1) 『あたりまえのことはあたりまえに』 ⇒ 六瑞小は、あたりまえのことをあたりまえに行う学校である
- ・子供たちのさらなる成長を願い、教師というプロ意識をもつ
 - ・子供たちのよさや可能性を認め、それを伸ばし、さらに子供たちに十分自覚させていく
 - ・私たちの努力の成果が子供たちの姿として現れるように努力を惜しまない
- (2) 『チームとして』 ⇒ 六瑞に集う私たちは、チームである
- ・自らの職務に責任と誇りを持ち、チーム六瑞にどのようなプラスを生み出しているのかを考えながら職務にあたる
 - ・私たちは仲よし集団でもなければ、馴れ合い集団ではない
- (3) 『個の発想』 ⇒ 教職員一人一人が六瑞小の文化をさらによりよくすることを目指す学校である
- ・一人一人が六瑞小はどうあるべきかを考え、自分は六瑞にあたって何を考えるべきか、何をすべきか常に具体化する習慣を身に付ける
 - ・「自分はこうしたい」という考えや思いをもって学校運営にあたる。校務分掌は、自己完結を目指し、責任を転嫁することはしない

○具体的方策

(1) 学びをつくる	<p>< 基礎的な授業から夢授業へ ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「主体的な学び」の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学習課題にチャレンジし、自己の学びの過程を振り返り、次なる目標をもたせる授業づくりをする ○「対話的な学び」の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを表現し、話し合い、人の意見や考えを受け止める、そして受け入れる力を育てる授業づくりをする ○「深い学び」の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・事実、知識、経験を相互に関連付けて、教科の特質に応じた見方・考え方をもたせる見通しをもった授業づくりをする <p>○めあてまたはねらいの板書・掲示、授業終末の振り返りを全ての授業で実施する</p> <p>○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る</p> <p>○授業においてインプットとアウトプットの機会を組み込む授業を展開する</p> <p>○話し合い活動を重視した授業づくりをする</p> <p>○「特別の教科 道徳」の授業の充実。教材を扱った授業を必ず35時間行い、45分を導入、展開前段、展開後段、終末の授業を展開する</p> <p>< 授業を支える工夫 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習や宿題を工夫し、自習（自修）力を高めさせる学習習慣の確立をする ○日常的にタブレットPCを活用する（文房具的扱い） ○コンテンツ（スタサプ、metamoji、コグトレ）を活用した学習支援を行う ○学校図書館を各学年、週複数回を活用し、来館を日常化する ○読書月間とともに「家読」や「ファミリー読書」の取組を充実させ、達成率を重視する ○教科担任制を視野に入れ、学期一回以上は多様な授業形態を試行する（交換授業※1・共同学習・習熟度別指導） ※1 横のつながりの学年で1組とすずらん学級の交換授業への挑戦 ○各自授業改善に努め、各自治体や学校の研究発表、研修等に積極的に参加し、自己の研鑽に励む
------------	---

<p>(2)学びを支える3つの柱</p>	<p>< 生活 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活指導の中心は挨拶と整理整頓 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 徹底した指導を繰り返し行う ○「自己理解」と「判断する力」を伸ばす生活指導の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 今後どうするかを考えさせる指導を根気よく続ける ○全教育活動とおした心の教育を推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ いじめ防止に向け、ふれあい月間の活用や、都スクールカウンセラーや区心理専門相談員、SSW、特別支援教室等との連携を図る ○不登校対応として、年間とおした適切な登校刺激を行う ○子供や保護者の悩み等に対応できる校内の相談体制の充実を図る <p>< 健康と体 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○栄養士と連携を図り、献立や食材、フードロスについての適切な（給食）指導を行う ○運動量と質を大切に体育科及び体育的活動の充実を図る ○外遊びと集団遊びを奨励する ○年間とおして、体力向上につながる取組を推進する ○体力向上努力月間（10月）を活用した体力向上を推進する ○早寝、早起き、朝ご飯を奨励する ○保健学習をとおして健全・安全についての理解を深める ○定期健康診断の結果を基に適切な指導と治癒勧告を行い、治癒率100%を目指す <p>< 環境 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○清潔で明るく美しい環境づくりを目指し、玄関、廊下、トイレの美化を徹底する ○教職員自らが子供たちのよき見本、環境であることを深く自覚し、その意識を高め、六瑞小の風土をよりよくする連帯感を醸成する ○持続可能な社会を目指し、地球環境を考えられる子供を育てる ○掲示物とおした学ぶ環境づくりに努める
<p>(3)特別活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学級活動の充実を図る。子供たちからの提案や生活に即した話し合い活動を行うことで、よりよい集団を目指す。⇒ 学級活動（1）、（2）の充実 ○児童の自発的、自治的な活動を中心としてクラブ活動、委員会活動の充実を図る ○係活動、当番活動の活性化が学級目標達成と学級経営の充実につながる実践を行う ○「キャリアパスポート」の活用や計画的に各教科と関連付けたキャリア教育を実施する <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 学級活動（3）の充実 ○学校行事を行う際、事前から事後までの一連の活動を意識した計画を立て、児童に目的の明確化と振り返りを丁寧にさせることで、「望ましい人間関係の形成・集団への所属感や連帯感を深める・自主的実践的な態度の育成」という学校行事の目標達成を目指す
<p>(4)特色ある教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○人権尊重教育推進校としての取組を充実させる。研究主題「自他の大切さを認め、思いや考えを伝え合う児童の育成～話し合い活動を重視した他者理解を深める授業実践～」の具現化を目指す ○教育活動全体をとおして、すずらん学級と1組との交流を確立かつ継続する（学期に1回以上） ○「六瑞スタンダード」を継承し、学習習慣の定着を図る ○全校児童で取り組む金管マーチングバンドの活動をとおして、「認め合い、励まし合い、教え合いながら、目標に向かって力強く努力を続ける児童を育成する。また、自他を尊重する思いやりの心や自己有用感、自己実現に向けた力を身に付けさせる ○生き物と触れ合う活動をとおして命の大切さを身近に感じさせる

(5)その他	○地域の一員として、行事等に積極的に参加するよう指導する ○ホームページの充実やスクリレの有効活用を図り、積極的な発信を行う ○服務規律の遵守に向けた取組を徹底する ○仕事の軽重、段取りを適切に行い、在校時間の短縮、休暇取得の適正化に努める ○適切かつ迅速に会計処理を行う ○校舎の適正な維持、管理、修繕を図る
---------------	--